

たじりー貫教育をめざして

基本理念

めざすべき目標(めざす子どもの姿)を共有し、すべての教職員が一体となって、0歳から15歳までの子どもたちの成長を切れ目なくつなげ、一貫した教育カリキュラムの実施及び一貫校で共に生活することによる育ち合い・学び合い・郷土への理解と愛着の醸成によるグローバル人材の育成。

グローバル:全世界を同時に巻き込んでいく流れである「世界普遍化=グローバル」と、地域や特性を考慮していく流れである「地域限定化=ローカル」の2つの言葉を合わせた混成語

めざす子どもの姿

「楽しく学び続けられる子ども」

- 基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけることができる
- 自ら課題を見つけ、考え、判断し、行動することができる
- これまでの経験や学んだ知識を関連付け、最適解を生み出すことができる
- 様々な体験活動を通して生涯学び続けることができる

自分の価値を見出し
より良い未来を拓きたじりっ子

自尊感情

「人とつながり、 自分も相手も大事にできる子ども」

- お互いのちがいを認め、尊重できる
- 時と場に応じた挨拶、言葉遣いができる
- 頼れる、頼られる人間関係をつくることできる

「自分の力でやり抜く子ども」

- 基本的な生活習慣を身につけ、自分のことは自分でできる
- 逆境を乗り越えるしなやかな心を身につけることができる
- バランスのとれた食事、適度な運動、十分な睡眠で健やかな心身をつくることできる

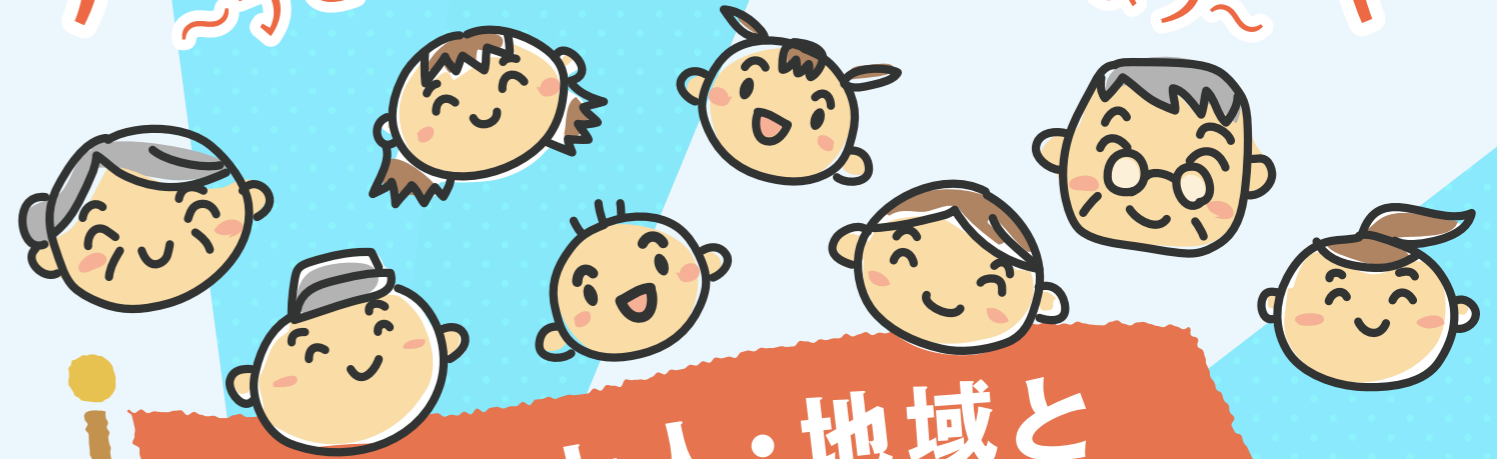
問い合わせ先

田尻町教育委員会教育部一貫教育推進課

電話:072-466-5024 FAX:072-466-5095 E-mail:ikkan@town.tajiri.osaka.jp

まちのみんなが 元気になれる学校

～子どもたちの元気の輪を広げよう～



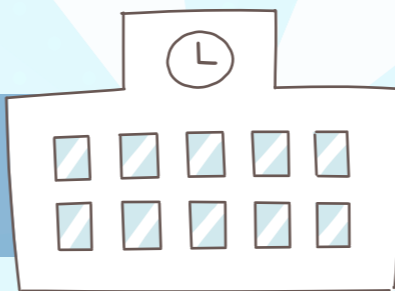
子ども・大人・地域と
ともに創る
新しい時代の学びの場



田尻町一貫教育施設整備基本構想



よりよい教育環境の充実



よりよい教育活動の充実



教育環境の現状について



施設名	建築年数	築年数
①こども園	2004年	20年
②中学校*	1963年	61年
③小学校*	1960年	64年
④プール	1966年	58年

※小・中学校は最も古い棟を記載

公共施設の耐用年数は**70年**

※小・中学校の建替え方針が決定



社会的な背景について

少子化の進行、情報化の進展、生活様式の多様化など、教育を取り巻く環境が大きく変化する中で、子どもたちの学習意欲や学力・体力の低下、規範意識の希薄化など多くの面で課題が指摘されています。このような状況のもと、大人たちが手を携え、子どもたちが自ら育つ力を最大限に活かし、子どもの成長を見守るとともに、「生きる力」を育てる環境を整備し、確かな学力を身につけた心豊かでたくましい「たじりっ子」を育てることが求められています。

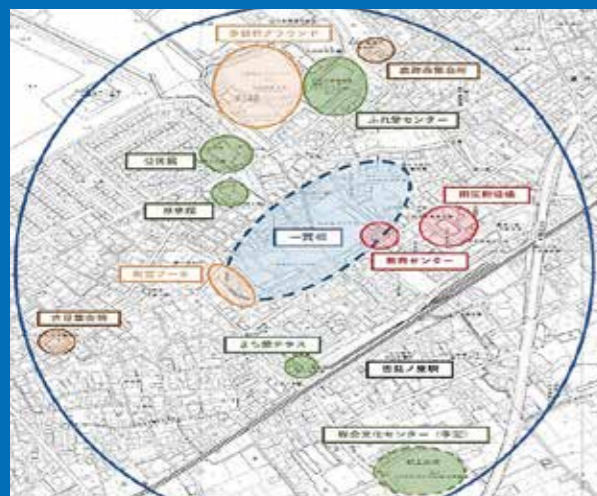


田尻町の特徴ある教育活動

田尻町は、小さなまちの特色として、学校区内に役場・消防といった行政機関に加え、高齢者施設、漁業・農業施設も存在しており、多種多様な人との連携が可能であり、その特色を活かした教育活動が行われています。



計画地について



まちの中心地にある現在の小・中学校の敷地に決定

計画地は、地域住民が教育活動等に参画しやすく、また役場、教育センター、公民館、ふれ愛センターなどが近くにあることから、幅広い世代の人と直接関わりを持つことができ、コミュニケーション能力や社会性の向上を図ることができます。

教育環境 ^{プラス} 教育活動

たじり 一貫教育

連携教育から一貫教育へ

園小中連携教育

こども園、小学校、中学校が、お互いに情報交換や交流を行うことを通じて、こども園教育・保育から小学校教育へ、小学校教育から中学校教育への円滑な接続をめざす様々な教育

園小中一貫教育

連携教育のうち、めざす子どもの姿を共有し、15年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育をめざす教育

田尻町内にこども園、小学校、中学校が1つずつであるといった特色を活かして、子どもたちの成長を切れ目なくつなぐ



新しい時代の学びの場について (事例紹介)



オープンスペースが増えたことで、子どもたち同士のディスカッションもしやすくなる!



大階段を設置し、自由な発表の場、表現の場としている!



学校図書室を学校を中心に配置し、本を通して日常的な交流が生まれるようしている!

今は、学びの場の大転換期!



田尻町の未来を支える子どもたちにとって豊かな学びや育ちの場を共に創っていきましょう!

